

福井教区 ジェンダーに関する意見募集

～皆さまのご意見をお待ちしております～

○募集対象 福井教区内の女性

門徒、坊守、僧侶、お寺に関わりのある人。
トランスジェンダーやノンバイナリーなど、
女性としての経験を持つ人を含む。

○募集期間 2025年10月1日(水)～2026年1月31日(土)必着

○提出方法 ①意見箱 ②郵 送 ③Googleフォーム

(別院に設置)

(教務所まで)

<https://qr.paps.jp/xRnXc>



このたび「ジェンダーに関する」意見を募集いたします。これは、私たちが、日々の生活やお寺、教団の活動の中で、ジェンダーについてどのように感じ、考え、向き合っているのかを深く見つめなおすための大切な機会です。

私たちは、阿弥陀仏に願われ「一人ひとりが、かけがえのない存在として大切にされる」という教えのもとにあります。しかし、現在の教団のあり方や社会の現状は、本当にその教えに照らされていると言えるでしょうか。歴史や慣習の中で、知らず知らずのうちに生じてきた性別による役割の固定化、見えにくい差別や不公平はないでしょうか。

今回の意見募集は、こうした現状を可視化し、教えに立ちかえって見つめ直すための第一歩です。ジェンダーにかかわる様々な課題は、決して他人事ではありません。門徒、僧侶、すべての人々が自らのこととして受け止め、共に考え、語り合うことが求められています。

皆さまからいただくご意見は、性別を問わず誰もが互いを尊重し、平等に参画できる開かれた教団を築くための大きな力となります。いただいた声を真摯に受け止め、今後の教区の活動などの実践へとつなげてまいります。

ジェンダーとは

社会的につくられた、人間を女と男に分類するルール(規範)のことです。ジェンダーは、「女の子は優しく、男の子は強く」と、性別によって望ましい性格があるように考えたり、「女は坊守、男は住職」と、性別に役割を結び付けたりするなどの、私たちのふるまいに大きく影響しています。

日ごろの生活、お寺、仏事に関することで①～③のご意見をお願いします

①女性と男性の差や、ジェンダーについて、何となく違和感を持ったり、モヤモヤしたりしていることはありますか。

②女性と男性の差や、ジェンダーについて、以前に比べてよくなったと感じることはありますか。

③次世代の人たちが大人になったころに、「こうなっていたらいいなあ」と思うことはありますか。